

豚熱の万全な予防対策を

国内では、北は山形、宮城から南は沖縄まで、また8月には九州で初めて豚熱が発生し、現在、20都県で確認。

本県では令和4年3月以来となる野生いのししでの感染が確認、依然、予断を許さない状況。

(豚熱の発生防止には)

1 適正なワクチン接種の実施

2 飼養衛生管理の徹底

⇒ウイルスが農場内に持ち込まれないよう、車両などの消毒や衣服の交換などをしっかり行う。

⇒特に、踏み込み消毒槽の消毒液は小まめに交換する。

⇒飼養豚を毎日観察し、異状・死亡頭数が増加した場合は、直ぐに家畜保健衛生所にご相談下さい。

3 野生いのししなどの対策

⇒農場周囲の防護柵、豚舎の壁や周囲の防鳥ネットを日々確認し、破損箇所をみつけた際は、直ぐに修繕する。

連絡先：山梨県東部家畜保健衛生所

電話：055-262-3166 FAX：055-262-3108

夜間・土日・休日の連絡先：090-5535-8005

土日・休日の連絡先：090-5544-7868

※野生動物の侵入防止対策

- 飼養衛生管理区域への
野生動物侵入防止（外周柵の設置）
- 豚舎周辺の除草、木の伐採
- 豚舎内外の整理、整頓、清掃
- 飼料タンク下等エサこぼれ防止
- 堆肥舎、資材庫へも野生動物侵入防止
- 豚舎内のネズミの駆除
- 豚舎開口部への防鳥ネットの設置

※消毒の徹底

- 農場や豚舎の出入り口、周辺の消毒
- 農場に出入りする工事車両や農場の
従業員の車両を含めた全ての車両の
洗浄、消毒の徹底

※出荷の際の消毒に注意

- 出荷車両内外（特に運転席）の消毒
- 運転手の更衣や長靴の履き替えを徹底

国内の養豚及び野生いのししの豚熱発生・確認状況

飼養豚陽性発生県：赤色

【20都県】（飼養頭数 2,721,030頭(全国の30.4%)）

野生イノシシ陽性発生県：赤色(佐賀、沖縄を除く) 橙色

【34都府県】（飼養頭数 3,998,700頭(全国の44.6%)）

飼養豚へのワクチン接種推奨地域：赤色 橙色 黄色

【46都府県】（飼養頭数 8,196,400頭(全国の91.5%)）

※飼養頭数は、R5 畜産統計・確認値を基に計算

